

## 第 2 回 「学びのひろば」 報告書

2010.9.22

### 概要

開催日：2010.9.7（火曜日）14:00-16:30

場所：経営学部 2 階大会議室

参加者：75名（うち運営者10名）

### 議題：「情報の共有化」について

◆背景：第1回「学びのひろば（議題：横浜国大について思うこと）」において、どのグループにおいても「情報の共有化がなされておらず、うまく業務が進まずに困ることがある」との意見があがった。これを受け、第2回「学びのひろば」ではこの「情報の共有化」をテーマに設定。グループに分かれ、解決し得る手段を考えた。

#### ① なぜ「情報の共有化」は必要なのか？

- 1) 業務をスムーズに遂行できる
- 2) 今、取り組むべき仕事に分かる→職員の自覚があがり、モチベーションの向上にも繋がる

E.g. 大学の目標に沿って各年度の目標等があると思うが、その情報を皆が共有することで自分の業務が大学の目標のどの部分を担っているかが明確になり、モチベーションの向上に繋がる

- 3) お互いの仕事をフォローしあえる（同一係内、関係部署との両方の関係において）
- 4) 「職員・教員・学生が同じ目線に立って波長を合わせ、より良い大学を作っていくためにも情報の共有化が必要である」

#### ② 個々の経験談を踏まえ、情報を共有するための提案

- 1) 定期的に朝10分程度のミーティング（朝礼）を行う  
（係員の意見を吸い上げることも必要。）
- 2) 近況等を話す昼食会を開催する
- 3) 共有ノートを作成する
- 4) マニュアルを作成する
- 5) 本学 HP 内に職員専用の業務担当部署の分かる検索エンジンを作成する
- 6) 職員総覧を作成する
- 7) メールや電話に頼らず、対面による伝達を心がける
- 8) レクリエーション等でのコミュニケーションを図る
- 9) 学びのひろばに参加する

## まとめ

第2回「学びのひろば」には65名にも及ぶ方々に参加いただきました。自主的に参加を希望された方、半ば強制的に参加させられた方、参加までの過程は人それぞれ違うと思いますが、「メールや電話で全てを済ますのではなく、直接会って話をしよう」「定期的な朝礼等、積極的にコミュニケーションを取ろう」といった結論に対しては皆さん一致の意見であると思います。

そして第1回、第2回の結論から、今、横浜国立大学の職員が抱える問題のひとつに「コミュニケーションが不足しており、情報の共有化がなされていない。それ故、業務がうまく進まずに困っている。」というものがあがり、各種提案もなされたところです。

これら提案は、実行しなければ意味がありません。上記 3)～6)といった実現までに時間のかかるものもありますが、他のものについては即実行可能なものばかりです。課内や部内において（もちろん係内においても）、どれか1つでも取り入れてみては如何でしょうか。

次回学びのひろばは11月の上旬を予定しています。内容や形式は未定ですが、みなさまからのアンケートを受け、また違った角度から横浜国大をより魅力的な職場にすべく活動して参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

「学びのひろば」運営スタッフ一同